

解決 トラブルシューティング

😊 今なら間に合う！ 😞 間に合わない？

(タキイ種苗開発部)

野菜は一つとして同じ生育をたどるものではありません。低温・高温、乾燥・過湿、曇天・日焼け、多肥・肥切れetc.、一度バランスを崩した野菜は、トラブルとなってその症状を現

します。そこから対応できることもあれば、もはや手遅れな場合もあります。このシリーズでは回復可能な事例はその対処例を、無理な事例は次回対策等を紹介するものです。

本号のテーマ

集中豪雨・台風で畝が冠水してしまった時の対処方法

😊 対応可能な処理

😞 対応不可能

●ケース：水につかった野菜の生育が停止してしまった

対策



- 😊 冠水後にしおれが発生しても、早期の排水が可能であれば、生育を継続させることができます。
- 😞 生育がストップし、株が枯れてしまった後ではもはや元に戻すことはできません。

◎原因

生育が止まるのは根が過湿で傷み、酸素欠乏を起こしていると考えられます。冠水時間が長いほど、回復が難しくなります。

生育時期におよぼす影響

根菜類では、播種後1カ月半までに冠水した場合、根の長さに影響が出て、その後の太りにも影響します。ニンジンなど酸素要求量が高い品目は、生育後半に過湿だとカロテン形成が不十分となり、色のりが悪くなります。

葉菜類は、定植1カ月後が葉を形成する時期となります(生長期)。この時期のダメージは収量に大きく影響するので、早期回復を促します。

◎対処方法

主な葉根菜類の対処(キャベツ、ハクサイ、ダイコン、ニンジン、ネギ)

排水を最優先に

根の窒息を防ぐため、まず排水を最優先で行います。特に根菜類は急ぐ必



↑ハクサイ軟腐病。(原図：駒田旦)

要があります。

排水後の管理

- ① 病害予防・早期回復：殺菌剤と「ヨーゲン強力2号」を混合し、葉面散布を行います。
- ② 発根促進：根が傷んでいる場合は、「発根力」などを灌注し、新根の発生を促します。
- ③ 軟腐病予防：ネギなどは「オリゼメート粒剤」などで軟腐病予防を徹底します。



↑酸素供給剤「M.O.X.液剤」は散布すると酸素を発生し、作物に最適な環境をつくる。



↑根の再生、発根促進専門剤「発根力」。



↑「ヨーゲン強力2号」は生育促進、障害による生育不良の早期回復に おすすめ。増収と品質向上が望める。

